

専大校友を訪ねて



アーチェリーで東京パラリンピック出場 大山 晃司さん(平26法)

大学3年次の秋、体操部の練習中に頸椎損傷の大けがを負った。首から下を全く動かすことができず、長い入院生活へ。自分は、この先どうなるのか。未来が見えず絶望感を感じながらも、「この1年の努力次第で、あなたの一生が決まる」と

「パラリンピックは全てが格別の大会だった。準々決勝で敗れて悔しさはあるが、夢の舞台に立ち、これまで支えてくれた人たちに恩返しできたことがうれしい」と笑顔で振り返る。

不断の努力で夢の舞台に パリでメダル目指す

2016年に警察行政職員として入庁。現在は会計課で、旅費精算や遺失物対応業務を担当する。パラリンピック出場も、警察職員になるという夢も不断の努力でつかみ取った。夢を追うことはいつでもできる。と

大山さんには「警察官になる」という、中学生の頃から抱き続けてきた夢があった。公務員試験に失敗して一度は民間企業に就職するも、諦めきれずに再挑戦し、

という医師の言葉を信じてリハビリに励んだ。そして少しずつ機能が回復し、リハビリの一環で何かスポーツを始めたいと思っていたときに出会ったのがパラアーチェリーだった。右腕の自由が利かない大山さんは左腕で弓を持ち、口を使って矢を射る。当初は同じようにプレーする海外選手のフォームをまねていたが、アレンジして自分のスタイルを確立した。パラアーチェリーには口を使う選手もいれば、足を使う選手もいる。「一人一人障がいの程度や状態が異なるように、射ち方も十人十色。それが競技の魅力の一つ」と話す。

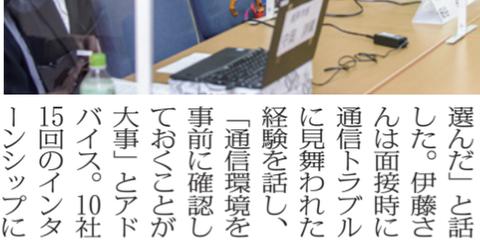
「次の目標はパリ大会でのメダル獲得。立ち上がる壁を一つずつ乗り越えてきた大山さんの挑戦は続く。」

育友会就職懇談会

コロナ禍の就活を解説

育友会(後藤康夫会長)主催の就職懇談会が10月16日に開かれ、ライブ配信された。企業の採用担当者による講演や、内定を得た4年次生によるパネルディスカッションなどが行われ、多くのご父母・保護者が視聴した。冒頭、後藤会長は「コロナの影響で就職活動は大きく変わった。変化をチャンスと捉え、この懇談会を役立ててもらいたい」とあいさつ。続いてキャリア形成支援課の堀野賢一郎課長が就職活動の現状や保護者が留意すべき点について説明した。企業で採用・教育業務に携わる細田優さん(平18文)は講演で、コロナ禍の影響として「急激な産業構造の変化」「オンライン化」などを指摘。「オンラインでの就職活動は

個人戦になりやすい。広視野を持って情報収集することが求められる」と強調した。保護者に対しては「最終的には自分で決めることが大事。温かく見守ってほしい」とアドバイスした。後半は内定を得ている守岡さんは「特定の業界ではなく、どのような働き方ができるか」という視点で企業を選んだ」と話した。伊藤さんは面接時に通信トラブルに見舞われた経験を生かし、「通信環境を事前に確認しておくことが大事」とアドバイス。10社15回のインタビューシンプに参加した細谷さんは「面接で確認しておくべきこと。この機会に一度自分の面接力を確認しておく」とよいでしょう。新聞を読む習慣もぜひ今のうちに身につけてください。業界・企業研究に必ず役



参加した細谷さん(経済)、伊藤さん(文)、細谷さん(文)、中村亮介さん(人間科学)とキャリア形成支援課スタッフによるパネルディスカッションが行われた。守岡さんは「特定の業界ではなく、どのような働き方ができるか」という視点で企業を選んだ」と話した。伊藤さんは面接時に通信トラブルに見舞われた経験を生かし、「通信環境を事前に確認しておくことが大事」とアドバイス。10社15回のインタビューシンプに参加した細谷さんは「面接で確認しておくべきこと。この機会に一度自分の面接力を確認しておく」とよいでしょう。新聞を読む習慣もぜひ今のうちに身につけてください。業界・企業研究に必ず役

守岡さんは「特定の業界ではなく、どのような働き方ができるか」という視点で企業を選んだ」と話した。伊藤さんは面接時に通信トラブルに見舞われた経験を生かし、「通信環境を事前に確認しておくことが大事」とアドバイス。10社15回のインタビューシンプに参加した細谷さんは「面接で確認しておくべきこと。この機会に一度自分の面接力を確認しておく」とよいでしょう。新聞を読む習慣もぜひ今のうちに身につけてください。業界・企業研究に必ず役

「3年次生へ」就職ガイダンスから1カ月たちました。就職活動に向けた準備を進めていると思います。これから年末に向けての準備はとも重要です。各種講座を受講して、計画的に進めてください。12月5日(日)に「オンライン面接対策・攻略セミナー」を開催します。この機会に一度自分の面接力を確認しておく」とよいでしょう。新聞を読む習慣もぜひ今のうちに身につけてください。業界・企業研究に必ず役

に立ちます。4年次生へ11月24日(水)に「IT業界オンライン企業説明会」を開催します。6社が参加予定です。25日(木)、26日(金)には「オンライン学内企業説明会」を開催します。各日10社以上が参加します。詳細はin campusでお知らせします。予約不要です。就職活動を継続中の方はぜひ参加してください。

故宇治野さんの写真を持つ福田さん(中央)。右が日高理事長、左が星野副会長



昨年11月に他界した宇治野秀貞さん(昭51法)の遺志継ぎ関係者が実現した。生前から交流があった星野衛校校友会副会長(昭46商)が経緯を説明。宇治野さんが設立した自然計画(株)で現在、代表取締役社長を務める福田博之さんは「スポーツ活動の強化などに活用していただきたい」と話した。

田キャンパスを訪れ、故人の遺志を継ぎ、日高義博理事長に寄付金を手渡した。生前から交流があった星野衛校校友会副会長(昭46商)が経緯を説明。宇治野さんが設立した自然計画(株)で現在、代表取締役社長を務める福田博之さんは「スポーツ活動の強化などに活用していただきたい」と話した。

第49回衆議院議員選挙当選者 (10月31日投票) ※50音順

- ▽稲津久氏(いなつ・ひさし) 昭57商 北海道10区、公明、5選
- ▽井原巧氏(いはら・たくみ) 昭61経 愛媛3区、自民、新(元参議院議員)
- ▽奥下剛光氏(おくした・たけみつ) 平10商 大阪7区、維新、新
- ▽小熊慎司氏(おぐま・しんじ) 平4法 福島4区、立憲、4選
- ▽中根一幸氏(なかね・かずゆき) 平12院法修 比例北関東、自民、5選
- ▽浜田靖一氏(はまた・やすかず) 昭55経 千葉12区、自民、10選
- ▽堀井学氏(ほりい・まなぶ) 平6商 比例北海道、自民、4選

2年ぶりの大会 校友会ゴルフ

第36回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会が、10月22日に千葉東キャンパス・ゴルフクラブで開催された。新型コロナウイルスの影響で中止となっていたため2年ぶりとなった。当日はあいにくの雨にもかかわらず、46人が久しぶりに会う校友とのゴルフを楽しんだ。結果は次の通り。

緑鳳学会を開催

本学出身の研究者により構成されている専修大学緑鳳学会の大会が10月23日、オンラインで開催された。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続でオンラインでの開催となった。第一部では博士後期課程の学生による研究発表が行われ、若手研究者の貴重な発表の場となった。第二部では4人の報告者により統一テーマ「SDGsが求める経済社会と人材育成」をテーマとしたオンラインセミナーを開催した。

悪意不在の「ハラスメント」

キャンパス・ハラスメント対策室 悪意不在の「ハラスメント」について、室長 杉本 肇(さかきもと 肇)が説明した。悪意不在の「ハラスメント」は、相手側から被害を訴えられても、それは過剰反応にすぎないと反発してしまう。しかし、悪意がなければ何を言っても、しても良いのではありませんか。悪意がなければ何を言っても、しても良いのではありませんか。悪意がなければ何を言っても、しても良いのではありませんか。

専修大学 2年ぶりの大会 校友会ゴルフ

第36回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会が、10月22日に千葉東キャンパス・ゴルフクラブで開催された。新型コロナウイルスの影響で中止となっていたため2年ぶりとなった。当日はあいにくの雨にもかかわらず、46人が久しぶりに会う校友とのゴルフを楽しんだ。結果は次の通り。

Stop Campus Harassment!

ハラスメントのないキャンパスへ

「ハラスメント」についていろいろ知っていきうちに、事はそれほど単純ではないことが分かってきました。問題は行動をする側に悪意があるとは限らないのです。無意識なくすす歩となり得るように思いま

のうちに、あるいは、これは世間の常識だからという思い込みによって取った言動が「ハラスメント」の申し立てを受け、や意思を尊重することが大事ではないでしょうか。

現在コロナ禍の下で問題になっていくワクチン・ハラスメントも、接種が「ハラスメント」にならないことを忘れず、接種の申し立てを受け、や意思を尊重することが大事ではないでしょうか。

対策室員・杉本 肇(さかきもと 肇)